

### 第3回武蔵野市特別職報酬等審議会会議要録

- 日時：平成30年12月13日（木）午後6時00分～7時00分
- 場所：武蔵野商工会館 市民会議室
- 出席者：稲垣会長、大島会長代理、近藤委員、佐々木委員、田原委員、  
能勢委員、萩野委員、長谷川委員、花俣委員、山下委員  
総務部長、人事課長、人事課課長補佐（人事係長）、給与厚生係長  
人事係労務・定数担当係長、人事係主任

#### 1 開会

【会長】第2回審議会会議要録について、事前に見ていただいているが、さらに修正やご意見はあるか。

（特になし）

【会長】特になければ要録は承認とし、確定する。

（第2回会議要録訂正：なし）

#### 2 議事

##### （1）答申（案）について

○事務局より次の資料について説明を行った。

「平成30年度武蔵野市特別職報酬等審議会答申（案）」

・「4 付記事項」の2段落目について

後段の部分は、皆様の議論の中で、「市議会議員は政策本位で元気なまちを」というご意見をいただいたので、その趣旨を稲垣会長と相談しながら盛り込んだ。

・「4 付記事項」の3段落目について

開催時期については前回も議論したが、現在の経済状況や社会情勢が不透明であるので前回の表現に戻して記載している。

○答申（案）についての審議

「2 審議会における論点」について

【会長】第2回で皆さんから出された意見と相違はないと思うが、付け加えることはあるか。

【委員】内容的にはこういうことでよろしい。言いたいことはいろいろとあるが、答申書としてはこういうかたちにまとまるのではないか。前回の審議会では議員から報酬について「現状維持」という言葉はあったが、「下げてほしい」という声は出なかったように

思う。今回は議員から「下げてもよい」という意見が多かった気がする。

【会長】実際「下げてもいい」という話は多かったのか事務局に聞きたい。

【事務局】2、3の会派からあったのは事実である。

【会長】ただ、下げたほうがいいという話までには至らなかったと思う。

【委員】そこまで踏み込んだ意見にならなかったと思う。

【会長】では、他に意見がなければ「2 論点」はこのままと考えているがよろしいか。

(他の委員から「よい」という声あり)

### 「3 結論」について

【会長】「退職手当については市長の政治信念に基づくとして議論すべきでない」という結論でよいか。

(他意見なし)

【会長】では、結論としてはこれで確定してよろしいか。

(他の委員から「よい」という声あり)

### 「4 付記事項」について

【会長】これについては、まず議員の政務活動費について、この前の話では「もうちょっと上げてもいいのでは」、「何をやっているのか」という話が出たがどうか。

【委員】今回は付記事項で「不断の努力を積み重ねられることを切望する」という言葉を入れたので良いと思う。先ほどの議論に戻るが、審議会全体としては下げてもいいのではという雰囲気があった。その言葉はどこかに入れてもよかったのではないか。しかし、それが果たして議員に伝わるかどうか。報酬に関しては、据え置きはやむを得ないと思う。政務活動費をどうしたらいいかについては、具体的にどうしたらいいかわからないが、「報酬に見合った仕事をしていただきたい」ということを盛り込んだ方がよいのではないか。

【会長】「見合った仕事をしてほしい」ということを書けるか。

【事務局】そういった発言があったことは会議要録に残す。

【会長】答申ではなく、会議要録で公表されるということか。

【事務局】そのようなかたちになる。

【委員】素朴な疑問だが、議会基本条例について議会内ではだいぶエネルギーをさいているようだが、そのほかの外の活動はどうなのか。基本的なことだけではなく、細かく規定すれば、当然会派も様々あるため対立や意見も出てくる。項目立てていくと、複数の意見が異なるのは当たり前のことで、本来市民のための活動をもっとすべきと考えるが、自分たちの取決めの中だけで活動を行っているという印象を受けた。

【委員】四六時中議会基本条例だけをやっているわけではないが、4年くらいたっても決められない議会というのは問題がある。議会というのは当然対立もあるが、決めることが仕事である。それができないのは今の市議会の弱いところである。議員の質の低下があるのではないか。これははっきり会議要録の中に残していただきたい。議論に出ているということ記録していただきたいのであえて言っている。4年間もやって結論が出ない。条例を作ることで議員の役割がはっきり決まるかは分からないが、決められない議会の今のもやもやした感じが、「やる気がない」と皆さんに感じられてしまうのではないかと思う。

【会長】議会基本条例はどこがリーダーをとるのか。議長か。

【事務局】議会の代表者は議長だが、具体的には議会運営委員会で検討を行っている。細かいところで決まらないところもあるようだ。

【会長】会議要録にしっかりやっていただきたいということを明記した方がよい。

【委員】前回の会議要録を見ていて、「長い時間をかけて議論している」と議長がおっしゃっている。それから副議長が「4年前から議会で行っていることを明文化していこうとなり、行きつ戻りつではあるがこういうふうに行っている」と言っている議会に疑問を感じる。議長、副議長は責任を感じるべきで、どこが悪かったのか、この次どうしたらいいのかを考えずに、こういう場で平然と言っている。そのあたりが閉塞感というか、議会の全体の雰囲気なのだろうと思う。武蔵野市議会が停滞していつしまうのではとヒアリングから感じた。それは報酬とは関係ないが、報酬を考えていくときに、議員さんはこのままではいけないのではないかと思う。

【会長】付記事項に「議会基本条例について」ということでもう少し追加するか。

【委員】個人的にはもう少しあってもいいと思うが、実際に書くかということは別なので皆さんに任せたい。

【会長】具体的にあればご意見いただきたい。

【委員】要は、今の議会のあり方に対してだと思う。議会基本条例に対する意見ではなく、そこについての意見ではないか。「議会としての役割をしっかり認識してやる」とか、どこまで書くかはいい表現があればと思うが難しいか。

【会長】ここに「役割や責務」という言葉はあるが。

【委員】この表現に苦勞したということはわかる。先ほどの委員の意見を踏まえるとそういうことかと思う。

【会長】「積極的にすすめる」というような言葉か。

【事務局】行政側で、今自治基本条例を策定しており、自治基本条例との調整が必要になっているという事情もある。

【委員】今事務局がいった内容はヒアリングでは話として出てこなかった。前回、議員さんが「作ります」と言っていたときから2年たってみてもまだ検討している。だからこのところに「早急に」でもいいが、何か適切な言葉を記載したい。

【会長】「迅速に」がよいだろうか。

【委員】理念がきちんとあって、あとはそれぞれが活動することが大事であって、議会基本条例のことばかりやっているのはどうかと感じる。

【会長】「明確にし、迅速に進め」といった言葉を加えることでよろしいか。他にどうか。

【委員】審議会の開催の「2年に一度」の文言については。

【会長】「原則」を入れたほうがいいのではないか。

【事務局】このところ社会情勢の変化がいろいろあるので、引き続き2年に一度くらいという案である。

【会長】「原則」を入れることとし「定期的」の文言はどうするか。

【事務局】「定期的」も入れるようにする。

【会長】他に意見はあるか。

【委員】いろいろあるが、この答申書（案）がいいところではないかと思う。先ほどの「2年に一度」に「原則」が入ることでもいいと思うが、最近は経済情勢が1年でがらっと変わる。場合によっては来年また行くことも考えられる。時の動きが早い。米中の関係も年の初めはよかったが、半年でまた悪くなったように、そういった情勢が日本や我々に影響が及ぶことがある。よって「原則」でよいと思う。

【委員】だいたい答申書（案）のとおりで大丈夫だと思う。一つ、政務活動費について少し踏み込めたらいいとは思った。議員さんの期末手当とのバランスを考慮してもう少し「市民の目線」が入る政務活動費というのを重点においてもいいのかと感じた。

【会長】検討の議論が必要な時期に来ているということか。

【事務局】付記事項に課題出しをしていただき、次期審議会につなげるのはどうか。最初から審議会への付託事項ではなく、そのこと自体を議会の中で話し合っていたいただき、議会の総意として政務活動費を上げた方がよいという話になれば、市長が改めてこの審議会に付託し、審議するというスタイルがいいのではないか。

【委員】特に意見はない。しかし、議員ヒアリングでは同じような内容であったことは物足りなかった。「私はこの4年間こうやった」という活動を伝えるものがなかった。

【会長】それは皆さん同じような意見である。他になければ、事務局の方で結論の部分を読み上げていただきたい。

（事務局が「3 結論」、「4 付記事項」を読み上げる）

【事務局】「4 付記事項」の議会基本条例について、「迅速に」の入る場所についてはさきほどの議論を踏まえた修正をし、会長と調整を行いたい。

【会長】最終案を皆さんにお送りし、確認をいただいた後で市長に答申することとしたい。その他の部分は、答申について確定させていただきたいがよろしいか。

（各委員から了承あり）

(2) その他

【会長】 その他、事務局から何かあるか。

【事務局】 答申案については、会長・会長代理と調整し、1月中に答申を行う予定である。

その前に、答申案、第3回審議会会議要録をまとめるので確認していただきたい。

【会長】 先ほど事務局が話した手順で市長には答申を行いたい。3回の集中的な審議をいただきありがとうございました。これで平成30年度武蔵野市特別職報酬等審議会を終了します。

(終了 午後7時)